第２回定例会 区政をただす 一般質問

区長の行政報告を問う

立憲・国民・ネット・無所属議員団　森　たかゆき

①「誰一人取り残されることのない」区政実現という観点から、組織体制や職員のマインド、業務、手続き、サービスの在り方まで総点検が必要では。②物価高騰対策について、対症療法的な燃料費等の補助ではなく、ＤＸ、ＧＸの推進による企業の変革を促すような補助を考えるべきでは。③おくやみ窓口の利用見込みは。④遺族の負担軽減のため、事前に必要な情報を入力しておけるようにしては。

区長　①サービスの内容や手続き方法の改善、必要に応じて組織体制の見直しも行ってきた。不断の改善を継続し、職員のスキルの向上にも努め、更なるサービスの向上を図っていきたい。②国や都の取り組みと連動した支援の在り方を検討していく。③１日３件程度と見込んでいる。④今後、遺族が事前に必要事項を入力し、印字済みの申請書が出力できる予定である。

子育て先進区実現に向けた取り組みについて問う

①学校給食費について、23区で無償化の流れが広がっている。無償化を決断すべきでは。②区立学校の教員不足の実態は。③保護者に対し「学校で働いてみませんか」と声かけをする取り組みの効果は。

区長　①子育て世帯への支援として、他自治体の事例を研究し、導入の手法と影響を精査していきたい。

教育長　②少人数指導の加配教員を配置できなかったり、産育休の代替教員を見つけられなかったりする状況がある。③教員免許を必要としない業務を担う人材の確保について、学校間が連携し、保護者の方などを紹介し合い、配置ができた事例がある。

中野サンプラザの今後について問う

自由民主党議員団　加藤　たくま

①新たなサンプラザが２６２メートルとなる話をすれば、区民は「すごい景色がみえる」と胸躍らせる。議会では新サンプラザの展望施設の有無の結論が出ていないが、自ら手放すことは考えられない。展望施設の規模、レストラン機能の要否などのパターンを早期に検討すべきではないか。②今後整備スケジュールが遅れた場合に想定される影響は。

区長　①展望施設を含む、拠点施設の更なるにぎわいの創出や、魅力の向上等につながる施設の在り方について再検討を行っている。②中野サンプラザを管理する株式会社まちづくり中野21の借入金利子や固定資産税等で、毎月３千万円程度負担している。経費の負担期間が長くなる等の影響が発生する可能性がある。

子ども施設の今後を問う

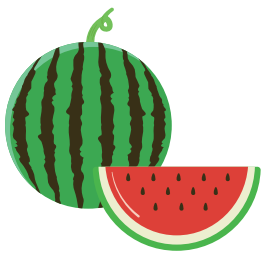
児童館を含めた地域子ども施設について、人口動態の変化やファミリー向け住宅の供給状況、共働き世帯の増加による学童クラブ需要の変化などにも目を向けて、在り方を見直すべきではないか。

区長　社会状況の変化を踏まえ、地域子ども施設の整備など多様な居場所づくりを進めていく。

デジタル地域通貨を導入せよ

区は商品券と互換性を持つ、デジタル地域通貨の仕組みを作るべきではないか。

区長　先行事例を参考に、中野区商店街振興組合連合会と協議し、有効なキャッシュレス型地域通貨のシステム構築を検討していく。



新たな財政フレーム導入についての区の見解を問う

公明党議員団　小林　ぜんいち

区長は行政報告の中で、基本計画策定から２年弱しか経ていないが、「策定時の想定から変化した財政見通し」と述べている。①昨年、予算編成で「基準となる一般財源規模」を廃止したばかりで、新たな財政フレームを導入する経緯は。②区政の根幹をなす財政運営の基軸の変更を、どのように考えているのか。

区長　①財務規律としては十分機能しているとは言えない状態が続いたことを踏まえ、新たな考え方を示した。②区民サービスを滞ることなく推進するため、将来世代の負担にならないよう基金残高を意識した考え方を盛り込んだ。

新庁舎への発券機・職員周知機等の導入計画を問う

①第１回定例会では発券機等の導入について、賛成多数で付帯意見が付された。区は議会の付帯意見をどのように考え、扱っているのか。②機器導入のシステム構築等契約は、先行導入した現庁舎とは仕様が異なる。入札案件と思うが、随意契約とするのか。③フロアマネージャー、電話対応、機器導入ありきではなく、更なる工夫が必要では。

区長　①執行上の要望等を議会の意思としてまとめたもので、尊重すべきことと認識している。②システム委託構築契約については、当該システムを開発した事業者を指定して契約手続を進めている。③費用対効果も含め発券機の導入が有効と考えている。

給食費の無償化を実現せよ

子育て世帯の区民生活の負担を軽減するため、給食費の無償化を行うべきではないか。

区長　他自治体の事例を研究し、導入の手法と影響を精査していきたい。

自転車用ヘルメットの購入費用補助を

区内事業者と協力して購入費用補助を行ってはどうか。

区長　区内事業協力店で、区民が店頭販売価格から上限２千円を割り引いた価格で購入できるよう、今定例会で提案する予定である。

学校給食費を無償化せよ

日本共産党議員団　羽鳥　だいすけ

学校給食費無償化を実施すべきではないか。

区長　学校給食費については、義務教育であることから本来国が負担すべきものと認識している。引き続き国に対して要望を行っていく。また、物価高騰対策として、給食費の無償化については、子育て世帯への支援を導入する手法と影響を、他自治体の事例を研究し精査していきたい。

マイナンバーカードについて問う

①マイナンバーカードを持たない場合や、持っていても保険証とひも付けしていない場合は、保険証の代わりとなる資格確認書を発行するとされているが、被保険者や保険者事務に想定される影響は。②公金口座やマイナポータルなど、様々な情報のひも付けによるトラブルは、中野区では起きているのか。

区長　①被保険者は、資格確認書の交付申請が必要となり、保険者は、申請受付、発行等に伴う事務が発生する。②区民から「誤った口座の登録があった。」等の申し出や問い合わせは受けていない。

高齢者の補聴器購入費用助成に係る検討会について問う

開催状況及び検討状況は。

区長　４月に設置し、これまでに２回開催した。対象者の要件やアフターフォローの在り方、医師の意見書の記載内容等の検討を行っている。

区有施設跡地を有効活用せよ

平和の森小学校跡地の売却方針は撤回・見直しし、区有施設跡地の活用は、住民参加での丁寧な議論が必要では。

区長　未利用の施設・跡地については、今後の財政状況や行政需要、地域の意見等を踏まえ、利活用について検討していく。

ハラスメントアンケートについて問う

区職員等を対象とした、ハラスメントに関する実態把握のためのアンケートの結果を、どのように分析し、今後に活かしていくのか。

区長　アンケートによって実態を把握するとともに、「職場におけるハラスメントの防止に関する基本方針」を見直し、ハラスメントを防止するための職員への啓発や、相談窓口を周知していくことで、良好な職場環境づくりに努めていく。さらに、管理職全員によるハラスメントゼロ宣言など、積極的に取り組むことについても検討していく。

若宮・大和町地域の公共交通サービスについて問う

今年度の実証実験に当たり、運賃を１００円とする、もしくはシルバーパスの適用とする。また、バス停についてもよりきめ細かく設置する必要があると考えるが、区はどのような見直しを行うのか。

区長　昨年度の実証運行の利用実績や、住民アンケート等の結果を踏まえ、公共交通としての成立を目指しつつ、より利用しやすい運行ルート、停留所位置、運賃などについて見直しを行っている。

鷺ノ宮駅南口のバリアフリー化を進めよ

鷺ノ宮駅南口のエレベーター、またはエスカレーターについて、どのような方策なら設置が可能か検討するべきではないか。

区長　駅舎の構造や敷地形状から、エレベーターやエスカレーターの設置は難しいと、西武鉄道とは確認してきたところであり、今後新たな検討も難しいと考えている。

羽田空港新飛行ルートを変更せよ

国に対し、中野区上空を通るルートの中止を求めるべきではないか。

区長　今後も、現在国が実施している「羽田新経路の固定化回避に係る技術的方策検討会」の動向等を注視していきたいと考えている。